

近現代史(38) 第一次世界大戦

○今回のポイント

第一次世界大戦は総力戦。

戦争に動員された社会的下位層が、戦後に地位の向上を求めた(戦争と社会契約)。

【第一次世界大戦の勃発】

(1) WW I における国際情勢

① 対戦勃発の流れ

1908	1.	青年トルコ革命	アブデュル=ハミト 2 世の専制に対してミドハト憲法復活を求めて革命。
1911~12	2.	伊土戦争	青年トルコ革命に乗じてトルコに宣戦。トリポリ・キレナイカを奪いリビアとする。
1912		第一次バルカン戦争	伊土戦争に乗じてバルカン同盟が[3. トルコ]に宣戦
1913		第二次バルカン戦争	第一次バルカン戦争後領土分割。[4. ブルガリア]敗北
1914	6.28	5. サライェヴォ事件	奥領ボスニア・ヘルツェゴビナ州でセルビア系民族主義者に皇太子フランツ=フェルディナントが暗殺される。
1914	7.28	奥の対[6. セルビア]宣戦	ドイツの強力な支援により奥はセルビアに宣戦
1914	7.30-31	ロシアの総動員	ロシア、[7. パン=スラブ主義]に基づき対オーストリア参戦
ドイツの[8. シュリーフェンプラン]発動！			
1914	8.1	ドイツの対ロシア宣戦	敵国いずれかにおいて動員が下されたならば、直ちにドイツも総動員を進めてベルギーを通過してフランス軍を包囲殲滅し、さらに手を返して動員の遅いと思われるロシア軍に対処するというもの。ドイツはこの計画に従って、8月1日にロシアに対して、さらに二日後にはフランスに対しても宣戦を布告し、ベルギー侵攻を開始した
1914	8.3	ドイツの対フランス宣戦	
		ドイツのベルギー侵攻	
1914	8.4	イギリスの対ドイツ宣戦	永世中立国[9. ベルギー]への侵攻は国際法違反

② 主要国の参戦理由

A) 連合国側

1914	日本	ドイツ東洋艦隊による通商破壊を防ぐ為、[10. 日英同盟]に基づいて参戦
1915	イタリア	未回収のイタリアを獲得する為[11. ロンドン密約]で連合国参戦
1917	アメリカ	ドイツの[12. 無制限潜水艦作戦]により参戦。

B) 同盟国側

1914	13. オスマン帝国	第一次バルカン戦争で敗北。バルカンを喪失し、ドイツに接近。
1915	14. ブルガリア	第二次バルカン戦争で敗北。パン=スラブ主義を離脱して、ドイツに接近。

③ WW I の影響

A) [15. 第二インターナショナル解体]…反戦を掲げていたが、参戦国の社会党の多くが自国政府を支持したため、事実上解体した。

B) [16. 挙国一致体制]の形成…諸政党が結束して政府を支持。

(2)第一次世界大戦の主な戦い

1914.8	17. タンネンベルクの戦い	独将軍[18. ヒンデンプルク]、ロシアに圧勝。
1914.9	19. マルヌの戦い	仏、ドイツの進撃を阻止→シュリーフェンプラン挫折
1915.4~.5	イーブルの戦い	ドイツ軍初めての[20. 毒ガス]使用
1916.2~.12	21. ヴェルダン要塞攻防戦	仏将軍[22. ペタン]、独の攻撃から固守
1916.5~.6	23. ユトランド沖海戦	主力艦隊戦。英は制海権を維持。独は潜水艦作戦へ移行
1916.6~.11	24. ソンムの戦い	英の[25. 戦車]で連合軍反撃。独軍は死守

【戦時外交と総力戦】

(1)秘密外交の展開

○イギリス三枚舌外交

1915	26. フサイン=マクマホン協定	対トルコ反乱を条件としてアラブの独立支持を約束
1916	27. サイクス=ピコ協定	英仏露でトルコ領を分割し、パレスチナを国際管理地とする
1917	28. バルフォア宣言	ユダヤ人の資金援助を条件にユダヤ人国家建設を支持

(2) [29. 総力戦]体制…物量戦を支えるために国力を戦争に向けて動員

①経済統制：軍需工業優先の産業再編成、女性や青少年の軍需工場への動員、食料配給性など

→[30. 婦人参政権]、福祉国家化；国家が強い力で経済に介入し社会政策を指導。

②英仏情勢：植民地から資金・物資・労働力・兵員を動員

→植民地からの[31. 自治]・[独立]要求運動に繋がる

③独境露情勢：厳しい経済統制による都市部での深刻な食糧不足を原因とする食糧暴動・反戦ストライキ

→政府が負担や義務を課して日常生活を規制→国民の間からはそれに見合った[32. 参政権]の要求

④ソヴィエト=ロシア、アメリカ合衆国の台頭

→新しい戦後の国際秩序の理念を提唱 →「33. 平和に関する布告 」(ソ)、「34. 十四か条 」(米)

(3)WW I の終結

①[35. 1917]年は大戦の転換点！…アメリカ合衆国参戦とロシア革命によるソヴィエト政権の誕生。

A) アメリカ

・2月 ドイツで[36. 無制限潜水艦作戦]開始！

・4月 アメリカ参戦

B) ロシア

・3月革命 → 帝政打倒

・11月革命 →[37. ソヴィエト政権]誕生 「平和に関する布告」：無併合・無賠償・民族自決

②1918年の状況

1月	米大統領[38. ウィルソン]「一四か条」提案 → 大戦後のソ連とのヘゲモニー争い
3月	[39. ブレスト=リトフスク条約]：ソヴィエト政権が独逸と単独講和
9月	[40. ブルガリア]降伏
10月	[41. オスマン帝国]降伏
11月	[42. オーストリア]降伏
11月	ドイツ[43. キール軍港]で水兵蜂起。革命運動が全国に広がり共和国となる→ドイツ革命
11.11	[44. ドイツ共和国]政府は連合国と休戦協定を結び、大戦終結